



碧南ロータリークラブ週報

第2472回例会 平成21年9月30日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 棚田 道和 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

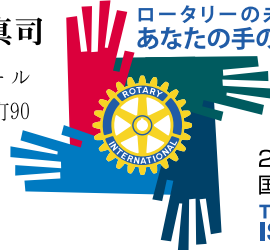
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

● 斉 唱

ロータリーソング「手に手つないで」

● 本日のメニュー

秋のお弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏

碧南市スカウト育成連絡協議会 副会長 小笠原幸央氏



鈴木並生会長

会 長 挨拶

はじめに会員のお見舞いの報告をさせていただきます。鈴木昭洋さんと、輝彦さんが安城の更生病院に入院されましたので、幹事さんとお見舞いに行ってきました。昭洋さんは今日現在退院してみえます。輝彦さんは少し長引くと言ってみえました。

9月8日ガバナー公式訪問が、無事終了しましたが、例会前の会長、幹事懇談会の様子を、少し報告させていただきます。特別にガバナーより、要望事項や指摘事項があった訳ではありませんが、雑談というか、意見交換の中での話を少し紹介いたします。

「碧南さんも、50年という歴史がありますね。地区大会も主管されたことだし、もうそろそろガバナーを出されたらどうですか？」と言われました。現状では難しいです、と答えておきました。「地区委員もあまり出ていないですね!」「女性会員もいないですねえ」と言われました。そうですねえ。とだけ、言っておきました。これとってガバナーからコメントがあった訳ではありませんが、しかし当クラブとしても今後、対応していかなければいけない課題だと思います。さて、先日、井上先生より、「思ったこといろいろ」という、先生のお書きになった本を頂きました。その中に、インフルエンザの事が載っていましたので、ご紹介させていただきます。この文章は昨年2月に書かれたもので、今の新型インフルエンザが発生する前のお話です。念のために申し添えます。

【このところインフルエンザ患者が多くて、休日診療所に一日に五十人だ六十人だの来所者があるようで、出勤の先生方にはご苦労様である。

私は昔一日に百五十人を越える患者を迎えて、苦労したことがあった。

調べてみればいつのことだったか判るだろうが、その必要もあるまい。学校でのワクチンが中止されて、タミフルも診断キットもまだなかった時代のことであった。

朝から患者が溢れて待合室が足りなくなったようだが、こちらはそれを確かめる余裕もなかった。

インフルエンザの患者ばかりだったように覚えている。従って診断には苦労しなかった。一緒に出勤して下さったのは山中寛三先生だった。

そのうちに消防署から電話があって、市民病院も、外科救急病院も満員で、とても受けられないから、高熱の救急患者をそちらに運んで行ってよいかとのことである。

山中先生は言下に「連れてこい」とおっしゃって下さった。

もう保健センターの駐車場は満員で、救急車が入れるかどうか判らないほどだったようだ。山中先生は、患者を来所者で一杯の待合室を抜けて診察室へ搬送してくることはないかと自席から救急車の中まで往診して処置して下さった。それが三度あったか五度あったか。さすがは海軍軍医として修羅場を踏んでこられ、敗戦後のインフルエンザ大流行を体験された方は違うと感嘆したものであった。

次々と来所する患者で、受け付けはパニックに陥り、薬局も同じである。

一番ひまなのは医師だった。カルテをつくるのが大変なので受け付けに来所した患者の保険証と新しいカルテ用紙をそのまま持ってこいと指図して、受け付けも医師が行なった。今のコンピュータ時代でなかったのが倖いであった。

薬局へ行って薬袋の名前でも書きましようかと伺ったが、かえって混乱しますのでと辞退されてしまった。混乱しているところへ他人が手を出すと、かえって悪いこともある。

午後にはもう薬剤の処方はやめにして抗生剤と解熱剤の注射だけをして、明朝主治医に行きなさいというだけで帰した。薬剤を処方しても何時になったら出来るか判らなかった。

いつ昼食を食べたのか、どなたが受け付けの事務をして下さったのか、看護婦さんがどなただったか、薬剤師の先生が誰だったか、もうみんな忘れてしまった。

今後にあんな流行が起きるか起きないかは誰にも判らない。起きては欲しくないが、起きないという保証もない。

あの混乱の中で、山中先生が平然として指示をだしていただけたのは頼もしかった。何といっても混乱時のリーダーの存在は大事である。平時にはマニュアルの通りに過ぎてゆく作業も、一旦非常事態になればそのマニュアルが役に立たなくなる。そしてしっかりしたリーダーが必要になる。

休日診療所に出勤する医師には、いつかそのようなリーダーシップを求められることがあるかも知れないということを自覚していただきたいと思う。

あの日に、救急車を連れてこいと速決された態度といい、待合室が溢れているのをみて救急車の中へ往診された山中先生の姿には大いに教えられたことであった。】

私も、異常事態時には、山中先生のような行動がとれるようになりたいものです。

幹 事 報 告

- お手元の資料の中にオイスカの講演会の資料を入れておきましたので、時間の許す方はご参加下さい。
- 本年度のクールビズは本日が最後です。10月よりネクタイ着用となりますので忘れないよう、宜しくお願いします。



棚田道和幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数77名(内出席免除者15名の内出席者10名)出席者61名	
出席対象者 61/71名	出席率 85.92%
欠席者16名(病欠者1名)	前々回修正出席率 98.59%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 井上 達夫君 9月19日に平成21年度公衆衛生功労者として愛知県知事表彰を受けました。
- 杉浦 健次君 この度、愛知県警察本部長並びに愛知県交通安全協会会長様より表彰状をいただきました。ありがとうございます。
- 奥谷 弘和君 ボーイスカウト、ガールスカウトに助成をしていただき、ありがとうございます。
- 長田 豊治君 昨日、「なんでも鑑定団」で藤井達吉翁の放映がありました。全国放送で少しは認められたかな？と思います。再放送が日曜日にあると思います。テレビ愛知です。
- 新美 真司君 碧南市消防団観閲式に鈴木会長はじめ多くの方にご臨席いただき、終えることが出来ました。ありがとうございました。
- 角谷 信二君 9月27日（日）碧南市消防団観閲式が無事終わりました。
- 藤関 孝典君 私事ですが、最近嬉しいことがありました。

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈」



碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏

ただ今ご紹介いただきました碧南市スポーツ少年団の石川でございます。日頃は、ロータリークラブの皆様には私どもの活動に御理解を頂き厚く御礼申し上げます。

私ども碧南市スポーツ少年団の年間収入予算は120万円程であり、その内の10%はロータリークラブ様からのご支援で、残りは碧南市・碧南市体育協会・碧南市レクリエーション協会等の支援と各団員の会費（年間10,000円～15,000円）から成っています。ちなみに現在加入団員は1,200名程で一人当たり年間1,000円の予算となっています。

支出につきましては、各団への補助金と碧南市レクリエーションスポーツ交流会等の費用に90万円、残り30万円は指導者の研修会・会議費等に使用しています。

子供達の体力ですが、小学生でいいますと2・30年前と比較すると5%から10%低下しています。今の子供達は学校から帰ると塾に行ったりテレビゲームで遊んでおり、あまり外で遊びません。運動不足が体力低下の原因となっています。そのため文部科学省の指導で子供達の運動量を増やす活動を行っています。碧南市も2年前に市民の運動量調査を行っており、その結果、一般成人で週2回運動をしている人は全体の25%で、国の目標50%を大幅に下回っています。碧南市も色々な設備を作ったり、来年3月には総合型地域スポーツクラブ（仮称は碧南南部総合型地域スポーツクラブ）を立ち上げる予定で、私どもも側面から応援をしています。

また日本スポーツ少年団は、小さいころからスポーツに接するように幼稚園児からの団員の加入を検討しています。

以上で報告を終わります。本日はありがとうございました。



碧南市スカウト育成連絡協議会 副会長 小笠原幸央氏

今日はどうもありがとうございます。碧南市スカウト育成連絡協議会からまいりました小笠原です。毎年ロータリークラブ様から多額の助成金を戴きまして、スカウトが健全な活動が出来るよう有効に使わせていただいております。



現在、碧南市スカウト育成連絡協議会ですが、ボーイスカウトが碧南1団と碧南2団の2つとガールスカウトが愛知32団の1つ、合計3団あります。各団100名程のスカウトがいますが、野球やサッカー等色々なスポーツに分散され、以前に比べスカウトの人数は減っています。ボーイスカウトは、野外活動の中で集団生活を行い、そのなかで決まりや規律を学んでいくもので、学校生活では経験できないことや家庭教育では教えられないことを一生懸命行っていますので是非ロータリーの皆さんの子供さんやお孫さんを預けていただきたいと思います。

スカウトのもう一つの活動は、奉仕活動です。老人ホームの慰問や「元気ッス碧南」のお手伝いを行っています。ロータリークラブでもイベントがありましたら、制服・制帽の子供達にお手伝いをさせます。

本日はどうもありがとうございました。

次回例会案内

平成21年10月14日（水）卓話「私の履歴書」

会員 藤関孝典君、永坂誠司君